

# 平成29年第2回定例会会議録（第1号）

平成29年6月5日

## ○出席議員（25名）

|     |       |     |        |
|-----|-------|-----|--------|
| 1番  | 阿部真一君 | 2番  | 竹内善浩君  |
| 3番  | 安部一郎君 | 4番  | 小野正明君  |
| 5番  | 森大輔君  | 6番  | 三重忠昭君  |
| 7番  | 野上泰生君 | 8番  | 森山義治君  |
| 9番  | 穴井宏二君 | 10番 | 加藤信康君  |
| 11番 | 荒金卓雄君 | 12番 | 松川章三君  |
| 13番 | 萩野忠好君 | 14番 | 市原隆生君  |
| 15番 | 国実久夫君 | 16番 | 黒木愛一郎君 |
| 17番 | 平野文活君 | 18番 | 松川峰生君  |
| 19番 | 野口哲男君 | 20番 | 堀本博行君  |
| 21番 | 山本一成君 | 22番 | 三ヶ尻正友君 |
| 23番 | 江藤勝彦君 | 24番 | 河野数則君  |
| 25番 | 首藤正君  |     |        |

## ○欠席議員（0名）

## ○説明のための出席者

|                |       |                   |       |
|----------------|-------|-------------------|-------|
| 市長             | 長野恭紘君 | 副市長               | 阿南寿和君 |
| 副市長            | 猪又真介君 | 教育長               | 寺岡悌二君 |
| 水道企業管理者        | 中野義幸君 | 総務部長              | 樫山隆士君 |
| 企画部長           | 悴田浩治君 |                   |       |
| 観光戦略部長         | 田北浩司君 | 経済産業部長            | 松永徹君  |
| 生活環境部長         | 伊藤守君  | 福祉保健部長<br>兼福祉事務所長 | 大野光章君 |
| 建設部長           | 狩野俊之君 | 共創戦略部長            | 原田勲明君 |
| 消防長            | 河原靖繁君 | 教育参事              | 湊博秋君  |
| 水道局次長<br>兼管理課長 | 三枝清秀君 | 財政課長<br>兼管理課長     | 安部政信君 |

○議会事務局出席者

|         |   |   |   |   |   |           |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|-----------|---|---|---|
| 局       | 長 | 檜 | 垣 | 伸 | 晶 | 次長兼議事総務課長 | 挾 | 間 | 章 |
| 補佐兼総務係長 |   | 河 | 野 | 伸 | 久 | 補佐兼議事係長   | 浜 | 崎 | 憲 |
| 補       | 佐 | 佐 | 保 | 博 | 士 | 主         | 查 | 安 | 藤 |
| 主       | 查 | 佐 | 藤 | 英 | 幸 | 主         | 查 | 矢 | 野 |
| 主       | 事 | 橋 | 本 | 寛 | 子 | 速         | 記 | 者 | 桐 |
|         |   |   |   |   |   |           |   |   | 生 |
|         |   |   |   |   |   |           |   |   | 正 |
|         |   |   |   |   |   |           |   |   | 子 |

○議事日程表（第1号）

平成29年6月5日（月曜日）午前10時開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議第37号 平成29年度別府市一般会計補正予算（第1号）

議第38号 平成29年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議第39号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

議第40号 別府市職員の退職手当に関する条例及び別府市立学校職員の退職手当に関する条例の一部改正について

議第41号 別府市税条例等の一部改正について

議第42号 別府市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部改正について

議第43号 動産の取得について

議第44号 動産の取得について

議第45号 市長専決処分について

議第46号 市長専決処分について

議第47号 市長専決処分について

議第48号 市長専決処分について

議第49号 市長専決処分について

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第3（議事日程に同じ）

午前 10 時 00 分 開会

○議長（堀本博行君） 平成 29 年第 2 回別府市議会定例会は成立をいたしました。

地方自治法第 121 条の規定により、説明のため市長ほか関係者の出席を求めましたので、御了承願います。

これより、会議を開きます。

本日の議事は、お手元に配付しております議事日程第 1 号により行います。

日程第 1 により、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 88 条の規定により議長において指名をいたします。

会議録署名議員に、2 番・竹内善浩君、5 番・森大輔君、16 番・黒木愛一郎君、以上 3 名の方々をお願いをいたします。

次に、日程第 2 により、会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、本日から 6 月 16 日までの 12 日間といたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀本博行君） 御異議なしと認めます。よって、今期定例会の会期は、本日から 6 月 16 日までの 12 日間と決定をいたしました。

次に、日程第 3 により、議第 37 号平成 29 年度別府市一般会計補正予算（第 1 号）から、議第 49 号市長専決処分についてまで、以上 13 件を一括上程議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

（市長・長野恭紘君登壇）

○市長（長野恭紘君） 平成 29 年第 2 回市議会定例会の開会に当たり、市政諸般の御報告を申し上げ、あわせて今回提出した諸議案の概要について御説明をいたします。

初めに、「遊べる温泉都市構想」について申し上げます。

別府市の伝統行事である「第 103 回別府八湯温泉まつり」が、3 月 31 日から 4 月 3 日までの 4 日間開催され、祭り期間中各会場で多彩なイベントが繰り広げられました。

ことしは、「湯かけまつり」を「遊べる温泉都市構想」の一環として進化させ、「湯・ぶっかけまつり」と銘打ち、例年の 10 倍となる 30 トンの温泉を使用することにより、多くの来場者に湯かけを体験していただきました。

さらに、神輿と音楽・ダンスの融合により、躍動するイベントとして演出しました。開催以来最多となる湯かけ神輿 24 基に担ぎ手など 416 名が参加し、参加者と来場者が一体となり、浴びせられる温泉にずぶぬれになりながら、大変な盛り上がりを見せました。

また、「湯～YOU～パレード」では、ディズニーイベントの一環として、全国の地方自治体などが主催するお祭りを巡る「東京ディズニーリゾート・スペシャルパレード」が特別参加し、約 7 万 5,000 人の市民や観光客に夢と感動を与えてくれました。

次に、「湯～園地計画」についてです。

「遊べる温泉都市構想」第 2 弾「湯～園地計画」は、「べっふ火の海まつり」の開催に合わせ、7 月 29 日から 31 日までの 3 日間、別府ラクテンチで開園いたします。

入園券は、「遊べる温泉都市構想実行委員会」の運営資金を御支援いただいた方への返礼品としてお渡ししており、ホームページ及び観光課の窓口でお申し込みいただけます。

「湯～園地計画」に係るクラウドファンディング及び寄附金の総額は、6 月 1 日現在で 5,061 万 190 円となっています。

御支援をいただいた方々の御期待に沿えるよう、「湯～園地計画」は必ず成功させ、別府の魅力为全国に発信し、さらなる別府ファンの拡充を図りたいと考えています。

5 月 21 日には、山本地方創生担当大臣が来別され、別府ラクテンチ及び NPO 法人 B E P P U P R O J E C T がアーティストの活動支援の一環として運営している清島ア

パートなどを視察し、既存のものに新しい価値を生み出すことや付加価値をつけることが地方創生の原点であり、新たなシステムによる資金調達方法の導入など斬新な発想に大いに期待しているとの感想をいただきました。

「遊べる温泉都市構想」は、たゆまず継続していきます。本市の基幹産業である観光産業の発展が地域活性化の原動力となり、地域振興に波及する重大な役割を担っていると確信しています。本市の財産である観光資源という宝を徹底的に磨き、さらに常識にとらわれない発想により観光戦略を展開してまいります。

次に「防災・震災に対する取り組み」についてです。

熊本地震から1年を迎えるに当たり、震災から得た貴重な経験を後世に伝えるため、地震の発生から行政・各関係機関の対応状況や復旧と復興へ向けた取り組み等をまとめた「平成28年熊本地震の記録？最終報告～」を作成しました。

また、4月14日に「市内一斉安全確保行動訓練」、4月16日に「職員非常招集訓練」及び境川地区自主防災会の企画による「境川地区合同防災訓練」を実施しました。

熊本地震の経験や訓練を通じて得た課題を整理・検討し、防災行政に生かすとともに、今後も継続的に訓練を行い、緊急局面での円滑な連携や防災に対する知識の普及と意識の高揚を図り、防災力の向上に努めます。

震災により、本市の基幹産業である観光産業は大打撃を受けました。推定11万人の宿泊客のキャンセルが発生し、被害総額は約13億7,000万円に上りました。

このような中、観光復興PR動画や新聞広告などによる風評被害対策を展開したところ、全国各地から御声援や御支援をいただき、33%減少した宿泊客も年末年始には増加に転じ、震災後1年を待たずにV字回復を遂げることができました。

風評にとらわれずに本市を訪れてくださった方々や御心配をいただいた方々に、何とか恩返しをしたいとの思いから、熊本地震復興支援の返礼事業として、別府温泉を無料で宅配する「元気な別府発信ありがとう事業」を開始しました。また、本事業を周知するため、PR動画「別府温泉の恩返し」をインターネット上に公開しました。

5月31日、福岡市に向けて「恩泉トラック」第1便が出発しました。震災後、福岡市から多くの救援物資が寄せられたことや福岡県から多くの観光客がお越しいただいたことを踏まえ、「福岡市立老人福祉センター若久園」と温かいメッセージをお寄せくださいました御家庭4軒に合計約8.2トンの温泉をお届けしました。

6月1日現在、837件の申し込みがあり、応募者の中から選定の上、順次宅配してまいります。本事業を通じて別府市民の感謝の気持ちが少しでも伝わるよう願っています。

次に、「ひとまもり・まちまもり懇談会」についてです。

全国の自治体が地方創生に資する取り組みを推進する中、本市におきましても、「べっぴん未来共創戦略」を策定し、戦略に掲げる政策や施策の早期実現に向け鋭意取り組んでいるところです。

しかしながら、直面する人口減少と少子高齢化の急速な進展の中で、市の財政状況は今後ますます厳しくなることが予想され、将来にわたって市民サービスを維持するためには、徹底した経費の削減や公共施設の総量縮減、事務事業の見直しなどによる安定的な財源の確保に努めるとともに、真に必要とされる市民サービスに重点を置くことが求められています。

このような現状を市民の皆様にお示しし、理解の促進を図るとともに、率直な意見をいただくため、各地区の公民館等を会場に「ひとまもり・まちまもり懇談会」を実施しています。情報を共有し、別府が1つになって行財政改革に取り組んでまいりたいと考えておりますので、市民の皆様を初め、議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

初めに一般会計補正予算ですが、今回補正する額は9,990万円の増額で、補正後の予算額は488億990万円となります。

その主なものとして、総務費では、「Biz LINK」事業が平成29年度地方創生推進交付金の交付対象事業として内示を受けたことに伴う財源補正を計上しています。また、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金の交付決定に伴い、東山地区公民館が所有する太鼓の更新等に対する助成金を計上しています。

土木費では、空き家所有者に対して積極的な登録勧奨を行うための意向調査費を計上し、空き家バンクの大幅な充実を目指します。さらに空き家をリノベーションし、モデルハウスにするための費用を計上し、お試し移住実施のための受け皿として整備します。

また、新築した亀陽泉前の市道拡幅に伴う消防第8分団2部格納庫の移転に伴う補償費を計上しています。

教育費では、平成28年4月に発生した熊本地震の影響により7月から休館している別府市美術館を、旧大分県社会教育総合センターへ移転しオープンするための経費を計上しています。

また、本年1月から実施している別府市指定文化財「絹本着色雪村友梅像」の保存修復事業が、住友財団文化財維持・修復事業助成の交付決定を受けたことに伴う財源補正を計上しています。

実相寺多目的グラウンド周辺整備事業として、観覧席や掲揚ポールなどの付帯設備の工事費を計上しています。さらに、この秋、別府市をメイン会場に第70回大分県民体育大会が開催されますので、こけら落としとしてラグビー競技を実施するために必要な備品購入費を計上しています。

次に特別会計では、公共下水道事業において、社会資本整備総合交付金の内示に伴い、施設整備事業費の減額を計上しています。今回補正する額は3億4,990万円の減額で、補正後の特別会計予算の総額は477億4,910万円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に、予算外の議案につきまして御説明申し上げます。

予算外の議案につきましては、条例関係4件、その他7件の計11件を提出しています。

議第39号特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正については、スクールソーシャルワーカーの報酬の額を改定するため、条例を改正しようとするものです。

議第40号別府市職員の退職手当に関する条例及び別府市立学校職員の退職手当に関する条例の一部改正については、雇用保険法の一部が改正され、失業等給付の給付内容等が変更されたことに伴い、失業者の退職手当について所要の改正を行うため、条例を改正しようとするものです。

議第41号別府市税条例等の一部改正については、地方税法の一部が改正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第42号別府市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部改正については、介護保険法施行規則の一部が改正され、主任介護支援専門員の定義が改められたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第43号及び議第44号の動産の取得については、消防ポンプ自動車を購入入れることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第45号から議第49号までの市長専決処分については、地方自治法第179条第1項の規定に基づき市長において専決処分しましたので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

議第 45 号は、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令が平成 29 年 3 月 29 日に公布され、同年 4 月 1 日から施行されたことに伴い、別府市消防団員等公務災害補償条例の改正を専決処分したものです。

議第 46 号、議第 47 号及び議第 48 号は、地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律等が平成 29 年 3 月 31 日に公布され、同年 4 月 1 日から施行されたことに伴い、別府市税条例、別府市都市計画税条例及び別府市国民健康保険税条例の改正を専決処分したものです。

議第 49 号は、機構改革により総務部資産税課を設置したことに伴い、地方税法第 404 条第 2 項の規定に基づく固定資産評価員の選任を専決処分したものです。

以上で、各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。

○議長（堀本博行君） 以上で、各議案に対する提案理由の説明は終わりました。

お諮りいたします。会期日程により全議案を考案に付したいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（堀本博行君） 御異議なしと認めます。よって、全議案を考案に付すことに決定をいたしました。

以上で、本日の議事は終了いたしました。

明日 6 日及び 7 日の 2 日間は、考案のため本会議を休会とし、次の本会議は、8 日定刻から開会をいたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前 10 時 14 分 散会